

東北の 立地環境

選択肢として「東北」を検討ください！



私たち「東北」の行政機関（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市、東北経済産業局）は、「東北地域産業開発促進協議会」として活動しています。

私たちは、多くの皆様に東北を知っていただき、皆様と協働して、東北を通じて日本／世界に貢献したいと考えています。

本冊子が、「東北」にご関心をお寄せいただける契機となりましたら幸いです。

経済・産業の話題あふれる「東北」

✓ 東北で半導体、自動車関連企業の大型投資が相次ぐ。

半導体関連産業では、キオクシア㈱の岩手県北上工場、東京エレクトロン㈱の宮城県大和町及び岩手県奥州市での新棟建設など大型投資が相次いでいます。これに合わせて産学官連携による人材育成等の基盤強化も進んでいます。

また、自動車関連産業でも、トヨタ自動車東日本㈱を中核に関連企業が集積しており、いま、当該分野で注目されているのが東北です。



岩手県北上市 北上工業団地内企業の空撮
提供：キオクシア岩手㈱

✓ 次世代放射光施設 NanoTerasu(ナノテラス)、東北大学キャンパスに整備。

ナノテラスが宮城県仙台市の東北大学青葉山新キャンパスに整備され、令和6年度に運用開始されます(予定)。

ナノの世界を照らす世界最先端の研究施設であり、太陽光の10億倍明るいX線が利用できます。幅広い分野の研究開発・ものづくりへの活用により、東北経済への好循環が期待されます。



宮城県仙台市 放射光施設の建設地
提供：東北大学

✓ 整備が進む、東北の高速交通網。

令和4年10月、東北中央自動車道の東根～尾花沢区間が全線開通となり、山形県最上地域が首都圏・関東圏と高規格道路で直結しました。

太平洋側の仙台と八戸をつなぐ三陸沿岸道路等の全線開通に加え、日本海側では令和8年度までに山形県鶴岡市から秋田県小坂町までが全線開通する見通しです。東北の各地をつなぐ縦貫道、横断道による高速交通網の整備が着実に進んでいます。



山形県 南陽高畠～山形上山インターチェンジ開通式
提供：山形県

✓ 東日本大震災からの復興、着実に進展。

福島県浜通り地域等における産業復興のため、新産業の創出を目指す「福島イノベーション・コースト構想」が推進されています。南相馬市のロボット産業集積の中核拠点「福島ロボットテストフィールド」、浪江町の再エネ由来水素製造拠点「福島水素エネルギー研究フィールド」など主要プロジェクトが進展し、新たな産業基盤が構築されています。



福島県南相馬市 福島ロボットテストフィールド
提供：福島県

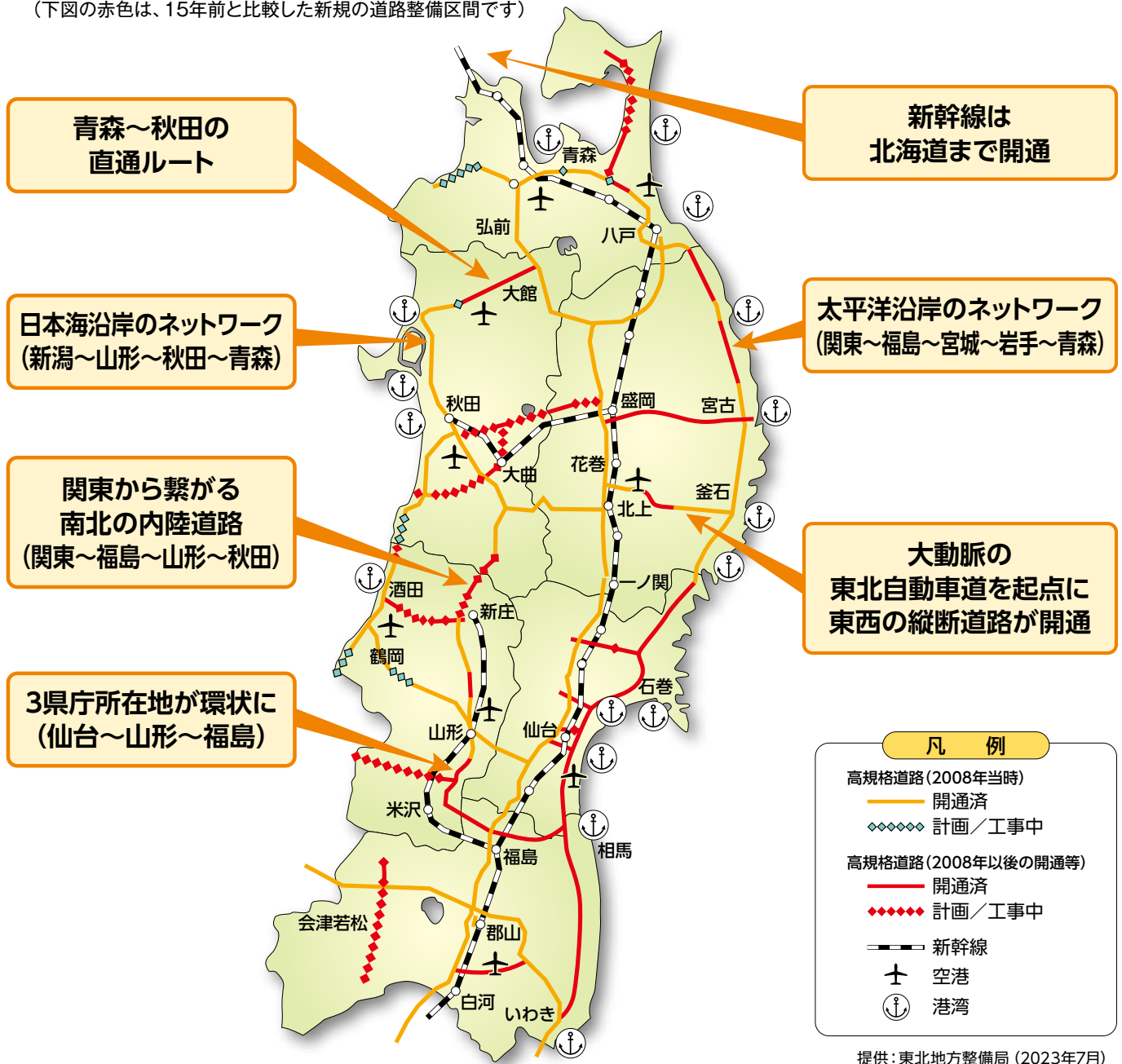
Memo

民間設備投資計画は製造業・非製造業で大幅増加

2022年度の東北地域の設備投資計画は4,614億円、このうち製造業は前年度比76.4%増の計画です。電気自動車(EV)の普及やDX化の流れを受け工場の新設・増強を行う電気機械分野や、医薬品製造で工場増強を行う化学分野などで増加する計画です。

国土の18%を占める「東北」

■東北では、この15年で、広域道路ネットワークが整備。新幹線は全県の県庁所在地を繋ぎます。
(下図の赤色は、15年前と比較した新規の道路整備区間です)



全国から東北への時間距離は大きく短縮されています!



Memo 東北の立地環境について

関東地方の北部に広がり、首都圏とのアクセス性や安価な物価・地価・賃金等を背景に、企業の立地が進みました。短い通勤時間、少ない犯罪件数、高いマイホーム率などの環境は、今も大きく変わりません。かつての企業立地は、南北に縦断する東北自動車道／東北新幹線の沿線が中心。しかし、交通網が整備された近年は、東北全体に企業立地の選択肢が広がりました。東北に投資が相次ぐ一因です。

選択肢としての「東北」

東北は成長しています！

域内総生産 **35** 兆円
(2011年度から増加傾向！ +4.7兆円)
※数字は2019年度の実績

製造品出荷額 **17** 兆円
(2011年度から増加傾向！ +3.1兆円)
※数字は2020年度の実績

東北が選ばれています！

東北域外からの
新規立地比率 **45** %

うち三大都市圏からの立地比率70%

※経済産業省 立地動向調査(2022年)より。東北への域外資本による新規立地数のうち、三大都市圏(東京圏、中部圏、大阪圏)の資本が占める割合。

東北の成長は、産業界と共に！

経済産業省
地域未来牽引企業 **692** 社
(全国比14%)
※東北の人口比は約7%

① 地域未来牽引企業とは？

経済産業省では、地域の特性を活用して地域経済をけん引する担い手として期待される地域未来牽引企業を4,743社選定・公表しています(2020年当時)。

製造業 製造品出荷額等全国シェア

— 業種別上位ランキング(2020年) —

	業 種 名	全国シェア(%)
1	電子部品・デバイス・電子回路	16.5
2	情報通信機械器具	13.9
3	なめし革・同製品・毛皮	13.1
4	木材・木製品(家具を除く)	11.4
5	業務用機械器具	10.7

※東北の製造業(全業種)全国シェアは5.8%。

持続可能な地域への取組

再エネの導入加速！

新エネルギー等発電量 全国比 **28.8** %

風力発電量 全国比 **43.5** % ※全国1位青森、3位秋田、4位岩手、7位福島など

地熱発電量 全国比 **34.3** % ※全国2位秋田、4位岩手、6位宮城、7位福島など

太陽光発電量 全国比 **23.9** % ※全国1位福島、5位宮城など

※経済産業省資源エネルギー庁都道府県別発電実績(2023年3月)を基に作成

4県が食料自給率100%超！

東北の製造品出荷額上位は、電子部品、輸送機械と食料品製造業です。カロリーベースの食料自給率は、秋田、山形、青森、岩手の4県が100%を超えるなど、豊富な地域資源も産業として根付いています。

国の制度も充実！

地方拠点強化税制

事務所や研究所を三大都市圏から地方へ移転する場合などに税制の優遇措置を受けることができる制度です。

地域未来投資促進税制

地域の強みを活かした先進的な工場新設などの計画に対して、課税の特例(減税措置)を行う制度です。

Memo

産業界に応える「人材」について

東北の偉人は、太宰治、宮沢賢治、新渡戸稲造、野口英世など。小学校の学力テストでは、秋田県を代表に、東北の高い教育水準が話題になることもあります。東北の各県では、優秀な人材の定着を図るため、地元の高等教育機関と企業のマッチングなど、様々な取組を行っています。



企業と青森の未来をつなぐ!

青森県

■ 商工労働部 産業立地推進課

Tel/017-734-9380

Mail/ritchi@pref.aomori.lg.jp

■ 東京事務所 企業誘致課

Tel/03-5212-9113

Mail/A-TOKYO@pref.aomori.lg.jp

■ 名古屋産業立地センター

Tel/052-259-7688

Mail/a-nagoya@pref.aomori.lg.jp

■ 大阪情報センター

Tel/06-6341-2184

Mail/a-osaka@pref.aomori.lg.jp

青森県は、本州最北端に位置し、世界自然遺産「白神山地」や三陸復興国立公園「種差海岸・階上岳地域」をはじめとする雄大な自然環境と全国に誇る豊かな農林水産資源、そして何より、粘り強く、仕事に対する熱意・意欲を持った「人財(人のたから)」に恵まれた地域です。

本県では、地域特性や人材などの優位性を活かしながら「ものづくり関連産業」「農林水産関連産業」「脱炭素関連産業」「情報・デジタル関連産業」「物流関連産業」の5つの産業分野における企業立地の推進に重点的に取り組んでいます。

多摩川精機株式会社 八戸事業所

当社では、ハイブリッドカーに欠かせない回転角度センサや工場設備等サーボモータ、カーナビや新幹線などに搭載されている自動姿勢制御装置のジャイロなど、2次元・3次元の高精度な角速度の制御装置を開発し製造する、世界でも数少ないメーカーです。

現事業所には、当社の開発に当たるモーションコントロール研究所が併設され開発を担っています。また当事業所には5つの工場があり、工場で作業に当たる従業員は地元の方が多く、地域産業の発展に貢献しています。



本県では、立地の検討段階から操業までのワンストップサービスや立地後のフォローアップなどきめ細かなサポートに努め、円滑な操業が継続できるよう全力でバックアップいたします。

優遇制度

産業立地促進費補助金
(設備投資に対する補助金)

IT・コンタクトセンター
関連産業立地促進費
補助金

等

※いずれも要件あり。

人財確保のサポート

Point

1 地元紙へ求人広告を掲載!

■ 新規立地企業・既立地企業

■ 広告サイズ:5段1/2

既立地企業の事業拡大

■ 広告サイズ:3段1/2

※いずれも要件あり

Point

2 企業・採用情報を掲載したPR冊子を作成し、県内の高校等に配布します。

3 教育機関(大学、高校など)への求人活動に同行し、人財確保を支援します。

Point

3 県内の一般求職者、新卒予定者、転職希望者や、県外のUIターン希望者等に対する求人情報の発信をサポートします。

4 青森県ホームページに誘致企業の求人情報を掲載します。



新聞広告のイメージ



詳細は…

検索

青森県 企業立地



「黄金の國、いわて。」へようこそ

岩手県

■ 商工労働観光部 ものづくり自動車産業振興室

Tel/019-629-5561~5563 Fax/019-629-5569

Mail/AE0004@pref.iwate.jp

■ 東京事務所 企業立地観光部

Tel/03-3524-8283 Fax/03-3524-8317

■ 名古屋事務所

Tel/052-238-7477 Fax/052-238-7478

■ 大阪事務所

Tel/06-6341-3258 Fax/06-6341-7979

県央広域地域

県内随一の高等教育機関の集積等を背景に、ソフトウェア・情報処理関連企業の進出が進んでいます。地元食材を活用した食産業も盛んです。

県南広域地域

交通アクセスに恵まれ、自動車・半導体関連産業を中心に産業集積が進み、岩手県ものづくり産業を牽引しています。



県北広域地域

ブローラーなど豊富な農林水産資源を生かした食料品製造業が集積しています。高い技術力を誇る縫製業の集積や世界トップクラスの評価を受ける造船業の立地も特徴です。

沿岸広域地域

三陸の恵まれた水産資源を活用した水産加工業、木材産業が集積しているほか、素材型産業も根付いています。

- 県央から県南にかけての北上川流域エリアは世界最先端のものづくり産業が集積しています。自動車分野では、トヨタ自動車東日本(株)岩手工場や(株)デンソー岩手、半導体分野では、東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ(株)やキオクシア岩手(株)などが進出しています。
- 県では、自動車関連産業、半導体関連産業、医療機器関連産業を戦略産業に位置付け、産業集積の促進や人材の育成に取り組んでいます。
- 人材の育成・確保・県内定着の取組として、「地域ものづくりネットワーク」による人材育成、「いわて産業人材奨学金返還支援制度」「岩手県移住支援事業」等の支援や「岩手U・Iターンクラブ」などによる県内企業の就職情報発信を行っています。



優遇制度

「特定区域における産業の活性化に関する条例」に基づく支援

企業立地促進奨励事業費補助

企業立地促進資金貸付

ワンストップサービスで操業開始をしっかりとバックアップ。日本一のフォローアップを目指しています。

「特定区域における産業の活性化に関する条例」は、岩手県版特区といえる制度です。市町村長の申請に基づき知事が指定した「特定区域」において製造業の用に供する工場等を新設・増設するときは、県と市町村が協力しながら、税の減免や大型補助、融資などの総合的な優遇措置を受けることができます。

工場等を新設・増設するときは、市町村の条例等により、補助金を受けることができます。

工場等を新設・増設するときは、投資規模に応じて低利融資を行っています。

優遇制度の詳細はこちら



アクセス

交通機関

東北新幹線 (東京⇄盛岡 約2時間10分)
東北自動車道 (東京⇄盛岡 約5時間30分)
航空便 いわて花巻空港 (大阪(伊丹) 約1時間20分)
(名古屋(小牧) 約1時間15分)

重要港湾

久慈港
宮古港
金石港
大船渡港

復興道路

三陸沿岸道路 (仙台⇄八戸 約3時間10分短縮(7時間35分⇒4時間25分)
(令和3年内全線開通)
東北横断自動車道金石秋田線 (金石⇄花巻 約25分短縮(1時間30分⇒1時間5分)
(平成31年3月全線開通済)
宮古盛岡横断道路 (宮古⇄盛岡 約30分短縮(1時間45分⇒1時間15分)
(令和3年3月全線開通済)

詳細は…

検索

岩手県 企業立地



東北の中心地「みやぎ」

宮城県

- 経済商工観光部 産業立地推進課 Tel/022-211-2733
Mail/sanritu-ka@pref.miyagi.lg.jp
- 東京事務所 Tel/03-5212-9047
Mail/tokyo-ki@pref.miyagi.lg.jp
- 大阪事務所 Tel/06-6341-7905
Mail/oosakaz@pref.miyagi.lg.jp
- 名古屋産業立地センター Tel/052-331-7461
Mail/nagoyailc@pref.miyagi.lg.jp

東北の国際物流拠点
仙塩釜港
世界100か国・300港
以上の国々と貿易



東北最大のターミナル駅
仙台駅
東北一の乗車人数
東京駅から最短90分



東北の拠点空港 (R4.11時点)
仙台空港
国内線9路線8都市、
国際線5路線6都市を結ぶ



震災からの創造的復興 —ものづくり産業の復興が加速—

■ 製造品出荷額等

出典:経産省「2020年工業統計確報」

約3.6兆円
H19年度(全国27位)

約0.9兆円
増加

約4.5兆円
2019年確報(全国24位)

県独自の優遇・補助制度 —手厚い投資支援—

みやぎ企業立地奨励金(最大交付率:10%・最大40億円) (令和5年度まで)

民間投資促進特区による優遇制度(最大5年間) ※県沿岸部の指定区域

世界に発信する宮城のものづくり —立地企業の声—

出典:「みやぎ企業立地ガイド2023~2024」

トヨタ自動車東日本株式会社

「東北から世界へ 魅力ある“コンパクトモビリティ”をもっと早くお客様へ」

トヨタ自動車東日本は、関東自動車工業・セントラル自動車・トヨタ自動車東北の3社が統合し、2012年7月にコンパクト車の専門集団として誕生いたしました。

宮城県には、第二仙台北部中核工業団地に、本社及びヤリスクロス等を生産している宮城大衡工場があります。また、第一仙台北部中核工業団地には、小型HV用エンジンやユニット部品の生産をしている宮城大和工場があります。

また、2013年4月には、企業内訓練校であるトヨタ東日本学園を開校し、当社社員だけではなく東北各県の地元企業の方々も受け入れ、生産現場の中核となる人材を育てていきます。

宮城県は、電気・ガス・工業用水などのインフラ整備が充実している大規模な工業団地があり、高速道路・港湾・鉄道といった物流環境が進んでいます。また、それら工業団地は東北の中核都市である仙台市が近く、豊かな自然にも恵まれ、食べ物も美味しく、従業員や家族にも快適な生活環境が揃っています。宮城県をはじめ、大衡村や大和町及び周辺地域の皆様には、多くのご支援をいただいております。伝統工芸をはじめとする東北のものづくり文化は、人々の誠実で我慢強い気質により育まれていると感じています。この地域の皆様と一体となってもものづくりに取り組み、よき企業市民として愛されるよう頑張っております。今後とも、よろしくお願いいたします。



トヨタ自動車東日本(株)本社・宮城大衡工場

東京エレクトロン宮城株式会社

半導体製造装置メーカーである東京エレクトロン宮城株式会社は、2011年に大和町の本社工場を操業を開始しました。

宮城県に立地した理由は、高い技術力を有した企業群があること、東北大学をはじめ多くの大学などの産学連携が可能であるためです。半導体製造装置はさまざまな技術の粋を集めた精密機械であるため、それぞれの専門分野で高い技術力をもった企業が多いということは大変魅力的です。また東北大学は、半導体に関する研究に取り組む有数の大学であり、これまでも当社と数多くの共同研究開発を行っています。

その共同研究によって開発された技術を用いた装置は、当社の次世代の主力製品になりつつあります。また、東北地域の大学・高専から多くの優秀な理工系の人材が輩出されており、採用の面でも良い環境だと考えています。

加えて、宮城県には東北最大の都市である仙台市があります。大都市でありながら自然が近く、気軽にレジャーを楽しむことができます。高速道路などのインフラも整備されており、関東圏、東北圏両方からのアクセスも良好で、社員も素晴らしい住環境の中で生活しています。宮城県や大和町および地域の方々から、当社の事業活動に対しさまざまなサポートをいただいていることも大変有難く感じております。

日本のものづくり力の強みを結集し、価値の高い技術・サービスを宮城から世界に提供することで地域の発展に貢献していけるよう努めてまいります。



東京エレクトロン宮城株

学校等への訪問同行による雇用確保支援

宮城県では、県内へ立地した企業が持続的な成長をしていただくため、立地企業の高校・大学・関係機関等への訪問に同行し、立地企業が業務内容や就労環境などを紹介する機会を設け、新卒者採用・中途者採用につなげていくことにより、立地企業の雇用確保を支援するための取り組みを行っています。

新卒者確保支援のための「企業と合同の学校訪問」

中途者雇用支援のための「企業と合同の関係機関訪問」

宮城県は、立地企業と学校・関係機関との関係づくりをお手伝いします!

詳細は…

検索

宮城県 企業立地



操業支援にとどまらない「真の企業誘致」

秋田県

- 産業労働部 産業集積課
- 企業立地事務所(東京)
- 名古屋産業立地センター
- 大阪事務所

Tel/018-860-2250、018-860-2251
Mail/Yuuchi@pref.akita.lg.jp
Tel/03-5212-9112
Tel/052-261-1806
Tel/06-6341-7897

秋田は、豊かな環境と優秀な人材、充実した公設試験研究機関等を背景に、産業発展の可能性に満ちあふれています。

秋田県では、この可能性の具現化に向けて産業誘致を県政の最重点施策として取り組み、人材の育成をはじめ優れた環境の産業団地の整備や、優遇制度の充実、研究開発支援施策等の強化による産学官連携などに努めています。

豊かな自然に恵まれた秋田への立地を心からお待ち申し上げます。



きりたんぽ



秋田犬

アクセス

秋田新幹線(こまち)、秋田空港、大館能代空港、高速自動車道、秋田港の整備が進み、製品の輸送や人の往来が格段に便利になりました。2011年に日本海側拠点港(国際海上コンテナ)に選定された秋田港には、韓国、中国とを結ぶ国際海上コンテナ定期航路に加え、国内の苫小牧—秋田—新潟—敦賀を結ぶフェリー航路があります。

空路

秋田空港

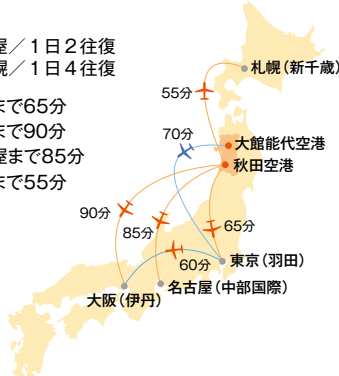
- 東京/1日9往復
- 大阪/1日6往復
- 名古屋/1日2往復
- 札幌/1日4往復

所要時間 秋田空港から 東京まで65分
大阪まで90分
名古屋まで85分
札幌まで55分

大館能代空港

- 東京/1日3往復

所要時間 大館能代空港から 東京まで70分



道路

秋田自動車道

- 所要時間 秋田市から 仙台市まで約3時間
東京まで約7時間

鉄道

秋田新幹線(こまち)

- 所要時間 秋田駅から 東京駅まで最短3時間37分

海路

重要港湾

- 秋田港:コンテナ船・バルク船・フェリー 日本海側拠点港
- 能代港:バルク船 拠点化形成促進港(リサイクル貨物)
- 船川港:バルク船

秋田港の定期フェリー航路

- 苫小牧、秋田、新潟、敦賀/週6便(敦賀までは週1便)

秋田港の国内コンテナ定期航路

- ひびき、秋田、新潟航路/週1便

秋田港の国際コンテナ定期航路

- 韓国(釜山)航路/週3便
- 中国(青島/大連)航路/週1便
- 中国(天津新港/大連)航路/週1回

優遇制度

秋田県への企業立地を検討される皆様へ、初期投資を大幅に低減するためのプランをご提案いたします。

補助制度

あきた企業立地促進助成事業補助金

①設備投資支援型

対象業種	①製造業 ②情報通信関連型 ③研究開発型
投資要件	投資額:3億円以上(土地代を除く) 雇用:新規(増加)常用雇用10人以上 (研究開発型企業又は本社機能等を行う企業は5人以上)
補助率	10%(要件に応じた補助率の加算あり、上限5億円)
人材育成費	重点分野事業の人材育成費の1/2(限度額25万円/人)

②事業集約支援型

対象業種	製造業及び製造関連サービス業
投資要件	経費:事業集約に伴う経費1,000万円以上 雇用:新規(増加)常用雇用2人以上
補助率	20%(上限2,000万円)

優遇税制

秋田県税の減免制度

法人事業税、不動産取得税などが優遇されることがあります。

はばたく中小企業投資促進事業補助金

対象業種	①製造業 ②情報通信関連型 ③研究開発型 ④流通関連型 (但し、中小企業であることが条件)
投資要件	投資額:1億円以上3億円未満(土地代除く) 雇用:新規(増加)常用雇用5人以上
補助率	10%(要件に応じた補助率の加算あり、上限3,000万円)
人材育成費	重点分野事業の人材育成費の1/2(限度額25万円/人)

本社機能等移転促進事業補助金

対象業種	県内に本社機能等を移転し、本店登記する企業
投資要件	増加常用雇用者数2名以上(役員も含む)
補助率	40%(上限4,000万円)
助成制度	本社機能移転と併せて設備投資を行う場合、上記2つの制度の雇用要件を緩和するほか、補助率を加算

工業団地の分譲リース

秋田県が開発した工業団地を購入またはリースで利用することが出来ます。

詳細は…

検索

あきた企業立地サポートガイド



山形が誇る2大世界最先端技術！

山形県

- 産業労働部 産業創造振興課 産業立地室 Tel/023-630-2690
Mail/ysangyo@pref.yamagata.jp
- 東京事務所 企業振興課 Tel/03-5212-9026
Mail/ytokyo@pref.yamagata.jp
- 大阪事務所 Tel/06-6341-6816
Mail/yosaka@pref.yamagata.jp
- 名古屋事務所 Tel/052-265-9841
Mail/ynagoya@pref.yamagata.jp

■ 有機ELといえば山形! (有機エレクトロニクス関連産業の集積)

山形県では、新たな産業創出を目指し、有機エレクトロニクス関連産業の集積に取り組んでいます。

地域企業や関係機関、地元自治体が緊密な連携を図りながら、製品化、事業化、産業化に向けた動きを加速させています。

■ 世界最先端のバイオ技術を核とした産業集積

慶應義塾大学先端生命科学研究所(鶴岡市)では、生物の細胞内にある代謝物質の解析とコンピュータ上の細胞活動のモデル構築を連携させ、生命現象を理解することを中核に研究を行っており、バイオサイエンスとITを融合した「統合システムバイオロジー」の分野において世界最先端の研究拠点となっています。

同研究所からは、「Spiber(株)」や「ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ(株)」(株)サリバテック」「(株)メタジェン」「(株)メトセラ」「(株)MOLCURE」「インセムズテクノロジーズ(株)」(株)フェルメクテス(株)」といったベンチャー企業が誕生し、隣接する施設にはバイオ関連の企業・団体が入居するなど、バイオクラスターの形成が進んでいます。



有機トランジスタ駆動の
フレキシブル有機ELディスプレイ



構造タンパク質素材を用いた
「MOON PARKA」
(ゴールドウインとSpiber共同開発)

山形県の優遇制度

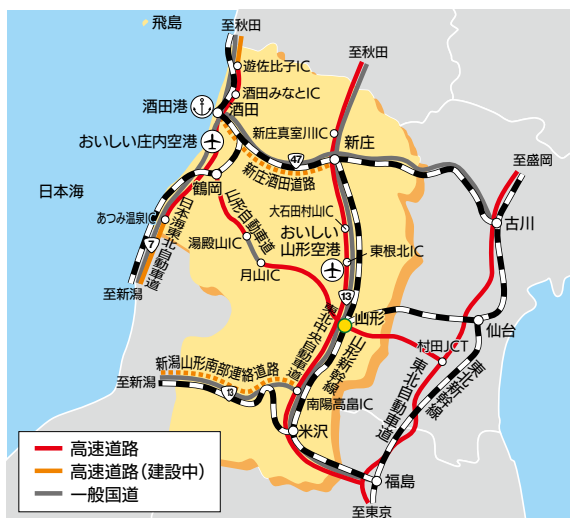
最大50億円の企業立地促進補助金

限度額20億円(金利0.7%)の産業立地促進資金

IT企業の新規立地に対する手厚い補助制度

等

アクセス



高速交通ネットワークの整備が進んでおり、物流面での利便性も向上しています。

交通機関

鉄道	山形新幹線つばさ	(東京⇄山形 約2時間30分)
	自動車(高速道路)	(東京⇄山形 約4時間10分) (仙台⇄山形 約1時間10分)
空路	おいしい庄内空港	(東京(羽田) 60分)
	おいしい山形空港	(東京(羽田) 60分)
		(大阪(伊丹) 75分)
		(名古屋(小牧) 65分)

重要港湾 酒田港

詳細は…

検索

山形県 企業立地



復興から創生へ。企業とともに挑戦する福島県

福島県

■ 商工労働部 企業立地課

Tel/024-521-7280

Mail/investment@pref.fukushima.lg.jp

■ 東京事務所

Tel/03-5212-9051

Mail/tokyo.jimusho@pref.fukushima.lg.jp

■ 名古屋事務所

Tel/052-251-0368

Mail/nagoya.jimusho@pref.fukushima.lg.jp

■ 大阪事務所

Tel/06-6343-1721

Mail/osaka.jimusho@pref.fukushima.lg.jp

■ 全国トップクラスの補助支援

自立・帰還支援雇用創出企業立地補助金(工場新增設) 補助率:最大4/5、補助上限:50億円
ふくしま産業活性化企業立地補助金(設備新設) 補助率:最大20%

■ 国内有数の医療機器部品・製品の生産県

大手メーカーなど、70を超える医療機器製造登録事業者が操業。
2020年の医療用機器部品出荷額は11年連続全国1位。

■ 福島イノベーション・コースト構想

東日本大震災と原子力災害で大きな被害を受けた浜通り地域等の産業を回復し、新しく生み出すための国家プロジェクトです。廃炉、ロボット、エネルギー、航空宇宙等の分野でプロジェクトを進めます。



■ 豊通リチウム株式会社(楢葉町 水酸化リチウム製造)

リチウムイオンバッテリー原料の安定供給に福島から貢献

電動車のバッテリー性能を高める水酸化リチウムを、楢葉南工業団地の工場で生産します。浜通り地方は自然が豊かで首都圏からのアクセスにも優れた地域です。国や県の助成制度も充実しており、さまざまな手続きで県や楢葉町が手厚くサポートしてくれます。車の電動化の加速に伴い、車載向けバッテリーはリチウム製品の中でも今後特に需要の増加が見込まれています。復興への熱い思いを持つ社員と共に、国内外から注目されるよう、地域と共に成長していきたいです。



豊通リチウム株式会社

■ 藤倉航装株式会社(田村市 航空救命装備品、宇宙観測用器材等製造)

航空宇宙産業を担う国内オンリーワン企業

私たち、藤倉航装株式会社は、昭和14年の創業以来80年以上にわたり、航空機の運航に必要な不可欠な各種救命装備品のほか、2020年小惑星リュウグウの貴重なサンプルを収集し、無事地球に帰還した「はやぶさ2」に搭載されたカプセル回収用パラシュートなど、宇宙観測用補助器材を製造しています。1990年には、東京に所在した製造施設の近代化をはかるため、誘致関係者からの聞き取りや現地視察を重ね、現在の福島県田村市へ移転しました。立地の決め手は、1995年のふくしま国体開催に合わせ警備自動車道が開通し、首都圏からの交通アクセスが良くなることを見込めたことでした。現在では、福島県内の航空宇宙産業の一躍を担う、国内オンリーワンの企業です。



藤倉航装株式会社

■ 株式会社エクセディ福島(喜多方市 輸送機器製造)

首都圏や海外へも好アクセス

株式会社エクセディは自動車用駆動系部品を主に製造・販売をしています。そのグループの一員である私たち株式会社エクセディ福島は、自動変速機用に効率の良いニードルローラー・ベアリングに特化した開発・製造を行っています。1960年の設立以来、喜多方市を拠点としており、事業拡大に際し、地域のさらなる発展に貢献するため喜多方綾金工業団地に決めました。補助金などの優遇制度と、市による交通網の整備などのバックアップを受けながら、広大な土地を取得。福島県は関東圏の入口であり、日本海側へのアクセスが良く海外へも輸出できる点が大きな魅力です。この地でさらなる飛躍を目指していきます。



株式会社エクセディ福島

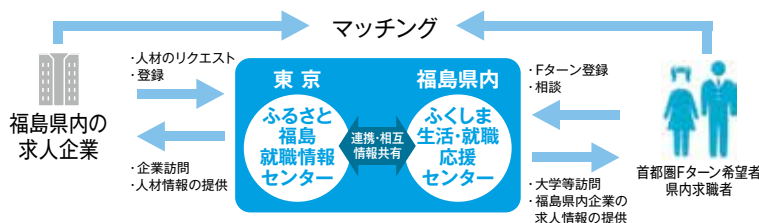
福島の支援

■ 企業と県内就職希望者をマッチング

福島県では、福島市と東京都に「ふるさと福島就職情報センター」、福島県内6か所に「ふくしま生活・就職応援センター」を設置し、企業と県内就職希望者のマッチングを実施することにより、企業の人材確保をサポートします。

■ 工業学生数東北・北関東No. 1

福島県は東北6県、北関東3県の中で最も多くの高等学校の工業科学生がいます。その上、県内各地の高等学校等で独自のカリキュラムを組み、生徒の可能性を伸ばしています。



詳細は…

検索

福島県企業立地ガイド



企業の革新を、確信へ

仙台市

■ 経済局イノベーション推進部 企業立地課

Tel/022-214-8245

Mail/kei008040_13@city.sendai.jp

■ 総務局 東京事務所

Tel/03-3262-5765

Mail/som001310@city.sendai.jp

仙台市の魅力

1. 人材の宝庫・仙台

- 東北の中心に位置し、人口**約110万人**
- 東北大学をはじめ**111校**の高等教育機関が集積
- **約8万人**の学生が学ぶ学都

2. 首都圏からの良好なアクセス

- 東京-仙台間は新幹線で90分 ⇒ 本社との密な連携が可能

3. 良質な研究開発環境

- 世界をリードする東北大学との連携
〈東北大学情報知能システム (IIS) 研究センター〉
電気情報系の開発分野について、企業目線でニーズの絞り込みから事業化までマッチング・コーディネート。
- 〈東北大学病院臨床研究推進センター (CRIETO)〉
ライフサイエンス系の研究開発において、基礎研究から橋渡し研究、さらに臨床研究・治験への切れ目のない開発支援。研究成果の実用化。

〈次世代放射光施設 Nano Terasu (ナノテラス)〉



高輝度の「軟X線」により、「電子状態」の詳細な解析や「物質表面」の分析が可能。国内外から学術機関や研究開発拠点を集積するリサーチコンプレックスを形成。

4. 多様な企業連携

- 多様なコンソーシアムが活動中
〈マシンインテリジェンス研究会〉
画像処理やセンサー、デバイスなどの技術の高度化と集積を目指す企業・団体が集まる研究会。
- イノベーションを生み出す様々な事業
〈次世代X-TECHビジネス創出促進事業〉
AIやブロックチェーンなど先端IT技術と様々な産業との掛け合わせ (X-TECH: クロステック) による新事業の創出。

5. 災害に強いまち

- 災害に対する強度
 - ✓ 国内主要都市の中でも強固な地盤
 - ✓ 東日本大震災で倒壊したビル**0件**
⇒ 災害時の事業継続及び早期復旧が可能
- 防災ロールモデル (模範) 都市

6. 満たされる仙台ライフ

- 一年中穏やかな気候で過ごしやすい街
- オフも充実する街
「食」・「温泉」・「スポーツ」が充実

仙台市を選んだ企業

ミツバ／両毛システムズ／アマゾンジャパン／日本IBM／メンバーズ／エリクソン・ジャパン／楽天／MAPPA／ヤフー／フィリップスジャパン／Will Semiconductor Japan 合同会社／NSD／SHIFT…etc

進出企業の声

- 産学官連携をスムーズに進めていける環境が魅力。
- Uターン組も含め、優秀な人材が豊富。
- 主要なIT企業が進出しており、横のつながりを 作りやすい。
- 仙台港に面する所在地は物流の面でベスト。
- 仙台市からの助成金等の補助も魅力の一つ。
- 立地表明を行ったことで、弊社の仙台進出を世の中の皆さんに知ってもらえた。



立地表明式 (SHIFT様)



多様なイベントを実施

企業ニーズの実現をサポート

■ ワンストップのサポート体制

公的機関・各種学校訪問への同行や採用活動への支援などワンストップにサポート

東北大学などの学術機関が持つ最先端技術と企業の研究ニーズをマッチング

企業ニーズに応じたオーダーメイドでのバックアップ

詳細は…

検索

仙台市 企業立地



東北地域産業開発促進協議会

since 1964

■ 東北は一体となって産業界を応援します！

貴社の東北進出を「東北地域産業開発促進協議会」が強力にサポートします！
進出後も、行政と企業の距離が近い東北だからこそできる支援を行って参ります。

構成機関

青森県、岩手県、宮城県
秋田県、山形県、福島県
仙台市、東北経済産業局



協力機関

(一社) 東北経済連合会
東北電力(株)
(独) 中小企業基盤整備機構
(独) 日本貿易振興機構
(公財) 東北活性化研究センター
(一社) 東北ニュービジネス協議会

例えば…

ネットワークで一体に！

自動車、医療、ロボット、海外展開など横断的テーマに対して、産学官の協議会を組織。多くの企業が参画し、交流しています。産業界からのニーズに対し、東北全体のスケールメリットを活かして支援機関がバックアップします！

広大な地域を活かしつつ、ネットワークとコミュニケーションの密度を高めて、連携を加速します！



【自動車分野】
とうほく・北海道
新技術・新工法展示商談会

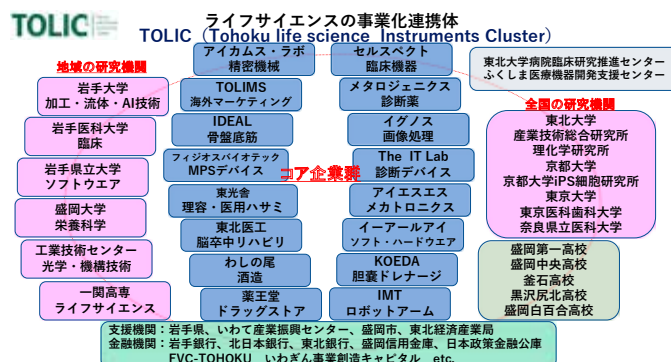
イノベーションで一体に！

東北は約50の大学に約1万人の教員が在席し、大学と企業双方が最適なパートナーに出会える機会を提供しています。また、現場を支える工業系公設試には、各県併せて約470名が在席しており、きめ細やかな支援を受けることができます。

また、民間が中心となった事業化連携体により、地域から世界へ発信するイノベーションが生まれています。(右図参照)

最新技術から引き継がれてきた匠の技術まで、まずはご相談をお寄せください！

技術連携を入口に、東北発イノベーションが生まれています！



35社、43団体 マーケティングから開発・量産までを地域で

東北ライフサイエンス・インストルメンツ・クラスター (TOLIC) の体制図
(イノベーションネットアワード2023経済産業大臣賞受賞) 提供:TOLIC

東北地域の先端工学技術と医学的インテリジェンスを融合させることで、ユニークなライフサイエンス機器産業の集積拠点の形成を目指す民間主導の取組み。

東北地域産業開発促進協議会事務局(経済産業省東北経済産業局企業成長支援課)

TEL/022-221-4807 MAIL/bzl-thk-ritti@meti.go.jp